

ITベンチャービジネス論 II

京都大学 学術情報メディアセンター

2010年4月9日--2010年7月9日

グローバル情報社会研究所(株) 代表取締役社長

オープン・グループ 日本代表・会長

一般社団法人 CRM協議会 会長

信州大学 経営大学院 客員教授

京都大学 学術情報メディアセンター 講師

藤枝 純 教

jfujieda2@re-gis.com

《 ITベンチャービジネス論 II 講義・演習プログラム》

第1回 2010年4月9日〔金〕 【京大キャンパス】

“グローバル情報社会と知価社会におけるオープンシステムベンチャーの必然” – 講義

演習準備 – ベンチャーに研究興味はあるが創設には参加はしない人は (A) (B) (C)
– 創設組みに入りたい人は (D)

チーム結成提案: ケーススタディ 選択

(A) SMART GRID・SMART Transportation

(B) IBM・マイクロソフト・Google 1つまたは2つ

(C) Mixi・Gree/Facebook・Twitterから1つまたは2つ

(D) ベンチャー会社設立 最高2チーム (V-1) (V-2)

第2回 2010年4月16日〔金〕 【京大キャンパス】

“顧客中心主義経営の登場” – 講義

演習準備 – 学生自己紹介・テーマ選び・Venture グループ選び、各自役割を決定しeメールで報告。

報告内容: テーマ、企業名、参加者名、学部・学科、学生番号、eMailアドレス

提出先: TO: 藤枝先生 jfujieda2@re-gis.com CC: 京大TA (アドレスは講義中に通知予定)

CC: ReGIS Inc. 小野 ritsuko@re-gis.com

第3回 2010年4月23日〔金〕 【京大キャンパス】

代理講師 喜多 伸夫 先生

“ベンチャー企業を如何に興したか？ 海外の企業を如何・どう買収したか？ 資金は？
上場のための苦勞・上場後の苦勞・これからの課題？”

* 終了後、喜多先生の講義を聴いて何を学んだか？について、感想文を400字以内に
まとめて、eMailで時間厳守の上提出。

TO: jfujieda2@re-gis.com CC: ritsuko@re-gis.com

締切り: 2010/4/30 (FRI) 10:00A.M.まで。

第4回 2010年4月30日〔金〕 【京大キャンパス】

グループ結成完了報告書・グループワーク:各グループにて自習

第5回 2010年5月7〔金〕 【京大キャンパス】

“日本の商人道・哲学こそ顧客中心主義の元祖” - 講義
演習: 質疑応答:

第6回 2010年5月14日〔金〕 【京大キャンパス】

“SMART問題設計手法” - 講義
実習 D-V1、V2 方針説明

- 第7回 2010年5月21日〔金〕 【東京】
実習 各グループ中間発表・問題点:質疑応答
- 第8回 2010年5月28日〔金〕 【京大キャンパス】
“TOGAF 設計概念”と“Agile Methods - 講義
- 第9回 2010年6月4日〔金〕 【京大キャンパス】
演習発表 (A) Team
- 第10回 2010年6月11日〔金〕 【京大キャンパス】
演習発表 (B) Team
- * 6/18 (FRI) は、創立記念日のため休校
- 第11回 2010年6月25日〔金〕 【京大キャンパス】
演習発表 (C) Team
- 第12回 2010年7月2日〔金〕 【東京】
演習発表 (D) Team

第13回 2010年7月9日〔金〕

【京大キャンパス】

JF最終講義

18:00 IT Venture Management〔質問会・コンパ〕 - 幹事を決めてください。

【オプション】 - 申し込み5月末までに12名でなければキャンセル

7月16日(FRI) - 7月30日(FRI) 予定(スケジュールは短く変更の可能性あり)

第3回 ReGIS - BOSTON / NYC海外視察研修(学生参加OK)

連絡先: グローバル情報社会研究所株式会社
代表取締役社長 藤枝 純教

ReGIS Inc. Office; 東京都新宿区新宿1-1-14 YAMADAビル 10F

TEL:03-5360-8300 FAX:03-5361-3123

eMail; jfujieda2@re-gis.com

CC; ritsuko@re-gis.com

【評価方式】

『ITベンチャービジネス論 II』は、基本的に、『ITベンチャービジネス論 I』の受講・認定者であるか、同等の能力を持った人と認定された人のみが受講可能とします。

評価は、出席率 40% 演習・提出物 60%といたします。

ベンチャーグループも含めて演習も個人の役割ごとの貢献度・アイデアの独創性・実現性・表現力・リーダーシップが評価の対象になります。

* 提出期限遅れは、基本的には認めません。

* 提出物には、氏名・学部・学科・学年・学籍番号を必ず記入のこと。

上記記入の無いものは、今年度から採点いたしません。

* eMailでの提出の場合、基本的には秘書 小野から受信確認メールを差し上げます。
受信確認メールが三日以内に入らない場合は、皆さんから再度確認をしてください。

以上